



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 新光商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8141 URL <http://www.shinko-sj.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 達哉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 一色 修志 (TEL) 03-6361-8111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	89,449	52.7	3,174	180.2	3,408	197.5	2,266	183.2
2022年3月期第2四半期	58,590	33.4	1,132	270.5	1,145	231.2	800	325.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,516百万円(491.2%) 2022年3月期第2四半期 764百万円(385.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第2四半期	円 銭 64.93	円 銭 —
2022年3月期第2四半期	21.56	—

1株当たり四半期純利益の算定に使用する期中平均株式数は、自己名義所有株式数を控除する他、役員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第2四半期連結累計期間520,014株、当第2四半期連結累計期間510,300株および従業員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第2四半期連結累計期間362,129株、当第2四半期連結累計期間344,900株、控除して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第2四半期	百万円 99,095	百万円 52,536	% 52.4
2022年3月期	88,951	51,945	57.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 51,901百万円 2022年3月期 51,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 23.00	円 銭 —	円 銭 36.50	円 銭 59.50
2023年3月期	—	29.00			
2023年3月期(予想)			—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	25.7	5,600	34.5	5,600	36.5	3,900	38.2	111.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注意事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	38,010,566株	2022年3月期	38,010,566株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	4,283,310株	2022年3月期	1,552,612株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	34,906,813株	2022年3月期2Q	37,124,265株

1. 期末自己株式には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2022年3月期510,300株、2023年3月期2Q510,300株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2022年3月期347,600株、2023年3月期2Q341,300株含まれております。
2. 期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式が、2022年3月期2Q520,014株、2023年3月期2Q510,300株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2022年3月期2Q362,129株、2023年3月期2Q344,900株含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の抑制と経済活動の両立が進む中で、ウクライナ情勢の長期化、円安の進行、物価上昇等、引続き先行き不透明感が強い状況となっています。

エレクトロニクス業界におきましては、タブレット端末・スマートフォン等一部製品の買い替え需要の一服感はあるものの、全体的には回復基調で推移しています。旺盛な需要による世界的な半導体製品や電子部品の需給逼迫は依然として続いており長期化しています。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、主要分野である産業機器関連・自動車電装機器関連・OA機器関連いずれも前年同期比を上回る実績となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高894億49百万円（前年同期比52.7%増）、営業利益31億74百万円（同180.2%増）、経常利益34億8百万円（同197.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益22億66百万円（同183.2%増）となりました。セグメントの業績は、次のとおりであります。

電子部品事業

自動車電装機器関連・産業機器関連・OA機器関連が好調に推移いたしました。

以上の結果、半導体の売上高は522億54百万円（前年同期比60.6%増）、電子部品の売上高は278億32百万円（前年同期比49.3%増）、電子部品事業全体の売上高は800億87百万円（前年同期比56.5%増）となりました。

アセンブリ事業

産業機器関連が好調に推移いたしました。

以上の結果、アセンブリ製品の売上高は74億16百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

その他の事業

産業機器関連・自動車電装機器関連が好調に推移いたしました。

以上の結果、電子機器及びマイクロコンピュータのソフトウェア受託開発の売上高は19億45百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、990億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ101億44百万円増加いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が66億10百万円、商品及び製品が38億72百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、465億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ95億53百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金72億26百万円、未払金が18億96百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は525億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億91百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が21億49百万円、利益剰余金が9億15百万円増加したものの、自己株式が25億63百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は52.4%（前連結会計年度末は57.8%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益が34億46百万円(前期比192.4%増)となり、売上債権の増加、棚卸資産の増加、未収入金の増加、短期借入金の返済、自己株式の取得による支出等があったものの、短期借入れによる収入等があったことにより、前連結会計年度末に比べ1億23百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末においては107億2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、38億8百万円(前期は2億88百万円の使用)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が34億46百万円、その他の資産・負債の増減額26億81百万円の収入等があったものの、売上債権の増加52億19百万円、棚卸資産の増加23億5百万円、未収入金の増加11億35百万円、仕入債務の減少11億6百万円による支出等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、76百万円(前期は2億84百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出66百万円、無形固定資産の取得による支出15百万円等があったものの、有形固定資産の売却による収入1億90百万円の収入等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、31億75百万円(前期は17億66百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金の返済による支出78億54百万円、自己株式の取得による支出25億63百万円、配当金の支払13億53百万円の支出等があったものの、短期借入による収入149億85百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績等を踏まえ、2022年5月16日公表の2023年3月期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,710	10,864
受取手形、売掛金及び契約資産	31,307	37,918
商品及び製品	29,189	33,062
仕掛品	28	46
未収入金	10,895	11,294
その他	246	221
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	82,370	93,398
固定資産		
有形固定資産	810	708
無形固定資産	513	450
投資その他の資産		
投資有価証券	3,106	3,170
繰延税金資産	193	190
その他	1,958	1,177
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	5,256	4,538
固定資産合計	6,580	5,697
資産合計	88,951	99,095
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,324	17,070
電子記録債務	1,978	2,317
短期借入金	7,444	14,670
1年内返済予定の長期借入金	—	1,000
未払法人税等	1,103	1,000
未払金	1,705	3,602
賞与引当金	623	745
役員賞与引当金	72	52
その他	1,239	1,326
流動負債合計	31,492	41,785
固定負債		
長期借入金	3,800	2,800
繰延税金負債	209	353
再評価に係る繰延税金負債	4	—
役員株式報酬引当金	88	105
従業員株式報酬引当金	186	249
退職給付に係る負債	869	855
その他	355	409
固定負債合計	5,513	4,774
負債合計	37,005	46,559

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,501	9,501
資本剰余金	9,599	9,599
利益剰余金	31,225	32,140
自己株式	△1,286	△3,850
株主資本合計	49,039	47,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	826	866
繰延ヘッジ損益	4	2
土地再評価差額金	△50	△61
為替換算調整勘定	1,547	3,696
退職給付に係る調整累計額	2	5
その他の包括利益累計額合計	2,329	4,510
非支配株主持分	575	634
純資産合計	51,945	52,536
負債純資産合計	88,951	99,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	58,590	89,449
売上原価	53,376	81,468
売上総利益	5,214	7,981
販売費及び一般管理費	4,081	4,806
営業利益	1,132	3,174
営業外収益		
受取利息	14	5
受取配当金	42	54
仕入割引	3	4
為替差益	—	191
雑収入	23	57
営業外収益合計	84	312
営業外費用		
支払利息	22	66
為替差損	46	—
自己株式取得費用	—	10
雑支出	2	1
営業外費用合計	70	78
経常利益	1,145	3,408
特別利益		
固定資産売却益	—	39
投資有価証券売却益	33	—
特別利益合計	33	39
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	1,178	3,446
法人税等	358	1,130
四半期純利益	820	2,315
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	800	2,266

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	820	2,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△272	40
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	216	2,159
退職給付に係る調整額	△0	3
その他の包括利益合計	△56	2,201
四半期包括利益	764	4,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	743	4,457
非支配株主に係る四半期包括利益	20	59

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,178	3,446
減価償却費	154	162
のれん償却額	6	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16	△19
役員株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	△2	17
従業員株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	11	62
賞与引当金の増減額 (△は減少)	44	120
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△44	△10
受取利息及び受取配当金	△56	△59
支払利息	22	66
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	△37
投資有価証券売却損益 (△は益)	△33	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,069	△5,219
未収入金の増減額 (△は増加)	124	△1,135
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,384	△2,305
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,409	△1,106
未払消費税等の増減額 (△は減少)	284	830
その他の資産・負債の増減額	△69	2,681
その他非資金取引	△72	△224
小計	△370	△2,725
利息及び配当金の受取額	54	59
利息の支払額	△23	△54
法人税等の支払額	52	△1,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	△288	△3,808
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△205	△6
投資有価証券の売却による収入	199	—
有形固定資産の取得による支出	△92	△66
有形固定資産の売却による収入	—	190
無形固定資産の取得による支出	△67	△15
その他投資資産の取得による支出	△125	△33
その他投資資産の売却・解約による収入	7	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△284	76

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	277	14,985
短期借入金の返済による支出	△1,149	△7,854
長期借入れによる収入	2,500	—
長期借入金の返済による支出	△2,500	—
自己株式の取得による支出	—	△2,563
リース債務の返済による支出	△38	△38
配当金の支払額	△756	△1,353
非支配株主への配当金の支払額	△100	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,766	3,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	135	679
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,203	123
現金及び現金同等物の期首残高	17,596	10,579
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,393	10,702

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品 事業	アセンブリ 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	51,182	5,894	1,514	58,590	—	58,590
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	51,182	5,894	1,514	58,590	—	58,590
セグメント利益	2,024	77	42	2,144	△1,011	1,132

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,011百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,011百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品 事業	アセンブリ 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	80,087	7,416	1,945	89,449	—	89,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	80,087	7,416	1,945	89,449	—	89,449
セグメント利益	4,138	27	83	4,249	△1,075	3,174

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,075百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,075百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。